

学校・子ども



### 心を満たす実践的な活動

松本秀峰中等教育学校(松本市) 科学部

前身の医学生物部から、科学全般を扱う部として本年度、再スタート。中高一貫校で1〜3年生26人、4、5年

リンクを作ったり、煮詰めた砂糖に重曹を加えると膨張する化学反応を利用してカルメ焼きを作ったり。生物の解剖

生12人の計38人が一緒に活動する。

全員、実験や観察が大好きで、好奇心と挑戦心を持って科学の不思議を追求する。これまでクエン酸やビタミンC、ブドウ糖などの配合を変えてオリジナルスポーツド

も行った。

夏休みには、信大理学部と薄川の生態系を調査研究。9月末の秀峰祭では、採取した昆虫の標本やフナ、カシカなどを生きたまま展示するミニアクアリウムを企画した。

林徹郎副部長(5年)は「解剖など教科書では学べない実践的な活動ができて興味深い」。松沢龍部長(同)は「設備が充実し、実験環境が整っているところが強み。部員の知的探求心を満たしてくれ」。



標本を手にする部員たち。実験では白衣を着る